

医療・福祉経営の新時代と人材を語る

VISION とStrategy 戦略

「地域包括ケア戦略と介護人材確保」

～「介護人材確保」への対応策を語る～

- 01 介護職の人手不足と各種介護士
数向上と福祉大の役割を語る
- 02 中小企業の介護福祉職人のチームワークで
人材確保と育成を両立して推進
- 03 高齢者、外国人、障害者、若年
層の付与人材確保を強化する
- 04 介護者へのケアを推進して
介護者も介護の魅力を体験

特別講演者 山崎 昌雄氏

特別講演者 山崎 昌雄氏

山崎 昌雄氏

特別講演者 山崎 昌雄氏

特別講演者 山崎 昌雄氏

特別講演者 山崎 昌雄氏



2013

12

編集 佐藤 博昭氏・経済研究所



「インテリアは、生活の質を左右する。だからこそ、自分らしい空間を創りたい。そのためには、素材の質感や色合い、照明の演出、家具の配置など、細部にまで気を配らなければならない。でも、自分一人では難しい。そこで、プロの力を借りよう。インテリアデザイナーに相談して、自分だけの空間を創りたい。」

インテリアデザイナーの役割は、クライアントの要望やライフスタイルに合わせて、空間をデザインすること。色や素材、照明、家具の配置など、細部にまで気を配る必要がある。また、予算や施工の難易度なども考慮して、最適な提案を行う。クライアントとのコミュニケーションが大切で、要望を正確に理解し、それを形にする必要がある。

インテリアデザイナーの仕事は、クライアントの要望やライフスタイルに合わせて、空間をデザインすること。色や素材、照明、家具の配置など、細部にまで気を配る必要がある。また、予算や施工の難易度なども考慮して、最適な提案を行う。クライアントとのコミュニケーションが大切で、要望を正確に理解し、それを形にする必要がある。

インテリアデザイナーの仕事は、クライアントの要望やライフスタイルに合わせて、空間をデザインすること。色や素材、照明、家具の配置など、細部にまで気を配る必要がある。また、予算や施工の難易度なども考慮して、最適な提案を行う。クライアントとのコミュニケーションが大切で、要望を正確に理解し、それを形にする必要がある。

インテリアデザイナーの仕事は、クライアントの要望やライフスタイルに合わせて、空間をデザインすること。色や素材、照明、家具の配置など、細部にまで気を配る必要がある。また、予算や施工の難易度なども考慮して、最適な提案を行う。クライアントとのコミュニケーションが大切で、要望を正確に理解し、それを形にする必要がある。

インテリアデザイナーの仕事は、クライアントの要望やライフスタイルに合わせて、空間をデザインすること。色や素材、照明、家具の配置など、細部にまで気を配る必要がある。また、予算や施工の難易度なども考慮して、最適な提案を行う。クライアントとのコミュニケーションが大切で、要望を正確に理解し、それを形にする必要がある。

インテリアデザイナーの仕事は、クライアントの要望やライフスタイルに合わせて、空間をデザインすること。色や素材、照明、家具の配置など、細部にまで気を配る必要がある。また、予算や施工の難易度なども考慮して、最適な提案を行う。クライアントとのコミュニケーションが大切で、要望を正確に理解し、それを形にする必要がある。

